

若いママたちへ

(前ページより続き)

お子さんや、その最愛の人が徴兵されて、"テロとの戦い"の名の下に遠い異国で、罪のない子供達やそのお父さん、お母さんを殺したり、殺されたりすることが現実になるのです。



えっ、「そのときはみんな大反対するから大丈夫よ！」ですか？

ところが、そうも行かなくなりそうなのです。

今、国会に提出されている「共謀罪」が成立したら、今までと違って犯罪を計画しただけで逮捕されてしまいます。

ふつうの善良な人たちには関係なさそうですが、犯罪を計画したかどうかを判断するのは警察や検察の人です。あなたが政府にたてつくようなことを誰かに言ったり、それどころか言ったとみなされただけで逮捕されたとしても、法的には問題ないことになってしまうのです。

そんな状況であなたは、政府に反対できますか？

勇気のある人が、戦争反対を唱えて逮捕されたときに、何か言えますか？

「共謀罪」は「"テロ"から国民を守る」とのふれこみです。
何か先ほど説明した「治安維持法」によく似ていませんか？

皆さん、可愛いお子さんの未来を守るために、この「共謀罪」を人ごとではなく自分のこととして、よく考えてみてください。それから今回はふれませんでした、今の憲法の考えを否定するような「新教育基本法」、憲法を改正しやすくする「国民投票法」も制定されようとしています。知っていましたか？

「テレビで言ってないよ！」ですか？

のぞき趣味と三面記事しか流さないテレビをいくら見ても、本当のことは教えてくれません。それどころかあなたやお子さんの精神と知性をどぶ川のように汚してしまうでしょう。

インターネットではいろいろな人の様々な意見や主張が飛び交っています。
あなたやあなたの可愛いお子さんが、テレビに流されることなく、自分で調べた自分の考えを持つことができるようになることを切に願っています。

ご自由にコピー、プリントアウトして下さい